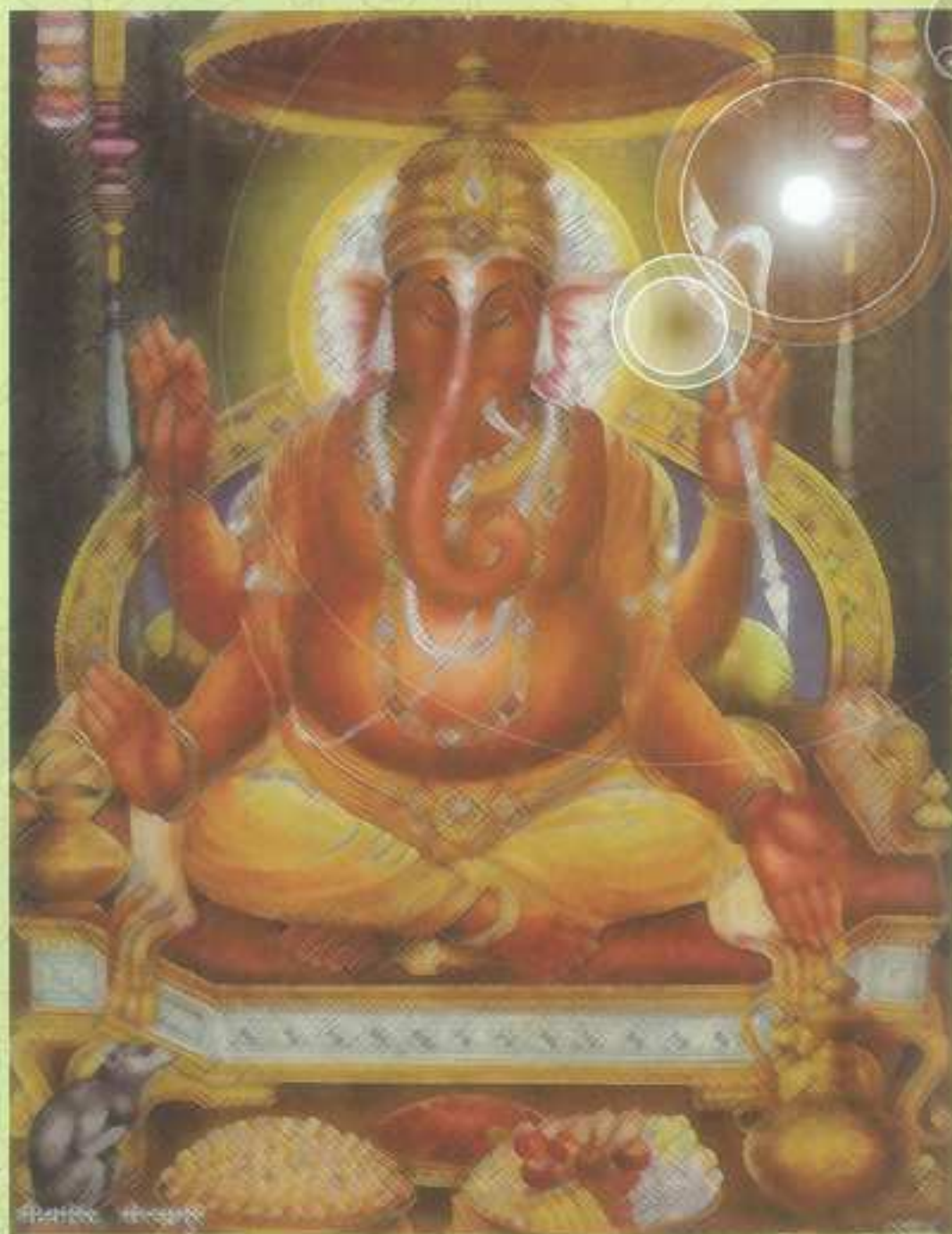


印度仏教音楽の調べ



こころが
よろこぶ
おと

日時 平成19年6月10日(日)

第1回 11:00~

第2回 13:00~

第3回 15:30~

※それぞれ異なるスタイルでのステージを予定しています

場所 九州国立博物館 ミュージアムホール

西鉄本町駅下車 徒歩10分

料金 前売 ¥2,000

当日 ¥2,500

(「未来への贈りもの」の年券をお持ちの方は前売料金でご見頂けます)

主催 Melophobia

チケットお問い合わせ 担当: シズヤマ 090-9652-5563 メガチケットアートリエ (博多リパレインB2F)

後援 福岡市 福岡市教育委員会 福岡市文化芸術振興財団 読売新聞西日本社 西日本新聞社 FBS福岡放送



シタール奏者
ドゥルナート・ミシュラ (Dhrunath Mishra)

1965年、ベナレス・ガラーナ（ベナレスの音楽一族）の家系に生まれる。父方祖父、鼓バンディット・サムタ・ブラサードは、アララッカ（ザキール・フサインの父親）、キシヤン・マハラージ、ゴダイ・マハラージなどと、インドタブラ界の4巨頭と呼ばれた。バドマブーシャン（インド文化功労賞）受賞。母方祖父バイジナート・ブラサード・ミシュラは、サーランギ奏者。父、シュリ・ロクナート・ミシュラはカタククダンサーでサーランギ奏者でもある。幼少の頃よりシタールに接し、バンディット・アマルナート・ミシュラ、バンディット・マンス・ラール・ミシュラより本格的にシタールを習う。1986年、音楽演劇協会の主催するUP州の音楽競技会にて一等賞。1990年、チャンディガールにあるプラチン・カラ・ケन्द्रラにて音楽修士号取得。1994年より4年間、毎年、ヨーロッパツアーに参加。ドイツ、スイス、オーストリア、イタリア、フランスでコンサートを開催。その後、ベナレス・ヒンドゥ大学、サンビーン学校などでシタールの教師として後進を指導。現在、ベナレスで最も活動するシタール奏者として、年間80回を超えるコンサートをごなしている。

タブラ奏者
カイラーシュ・ニシャッド (Kailash Nishad)

1969年、シタール奏者ヘムラージ・ニシャッドの息子としてベナレスに生まれる。5歳よりタブラを習い始め、バンディット・チョテラール・ミシュラに師事。1995年、初めてのヨーロッパツアーに出かけ、英国、ドイツ、フランス、オーストリア、オランダで演奏会を開催。1998年から、英国ダーティントン大学音楽学部の永世教授（タブラ部門）となり、毎年、夏のシーズンにワークショップを開催。シーズンにあわせて、ヨーロッパツアー、アメリカツアーを開催。アメリカのスター・ウッド音楽祭やバナル音楽祭にも出演。現在に至る。ダーティントン大学は、大英帝国時代、ノーベル文学賞受賞者ラヴィンドラナート・タゴールが英国内に創立した芸術大学で、ラヴィ・シャンカル（シタール）、サラダ・サハイ（タブラ）、ギリジャ・デーヴィ（声楽）、ザキール・フサイン（タブラ）、アマルナート・ミシュラ（シタール）などインド古典音楽界を代表する演奏家が代々教授を勤めている。



ゲスト出演
インド舞踊 ニラ（第1回、第3回公演）

幼少の頃よりインドにて子役兼ダンサーとして映画、舞台に出演。
2000年にNTV「ウッチャンナンチャンのウリナリ!!」に出演の爲、来日。
番組終了後もテレビ出演やCM振り付け等で多数活躍後、2005年より福岡にて教室を開催。

琴奏者 村瀬ひとみ（第2回公演）

15歳より琴、十七弦、三弦を始めた後、生田流箏曲師範、全国邦楽指導者協議会師範となる。現在、福岡にてお琴教室を開催し、多くのアンサンブルやジョイントコンサート等でも活躍中。又、世界の音楽にも興味を持ち、〈アフリカ&日本文化交流グループ〉副会長も務める。